

東海第二原発の再稼働に 同意しません

**PCR検査の無料
実施、補償の充実**



いぬいやすよ
乾康代
無所属

おやくそく

1. ジェンダー平等が息づく村に
女性の視点を村政に生かします
2. 新型コロナ感染対策の抜本的強化
3. 東海第二原発は再稼働せず、廃炉後
の村づくりを準備します
4. 再び「福祉日本一の村」をめざします
5. 家族農業を守り育成し、豊かな自然
環境を守ります
6. 未来を担う子どもたちの育ちと教育
の環境を整備します

私は東海村の街づくりについて、20年来研究をしてきました。こんな狭い村で原発と住民生活
があまりに近いことに、開発のあり方がまちがっ
ていることに気づいたからです。
原発の動かない村でいつまでも安心して住み続
けられるために、女性の意見も十分反映させな
がら村政運営に励む決意です。

- 1953年生まれ。水戸市在住。●都市計画・住環境計画を専門として、
長年にわたり茨城大学教育学部で東海村の街づくりを研究。
- 元茨城大学教育学部教授。新建築家技術者集団代表幹事。

ホーム
ページ⇒



いのち輝く東海村の会 〒319-1117 東海村東海2-1-23
電話 287-3088 Fax 287-3087

新発想で大胆に…やまだ修は 理想のまちへ、挑戦!

(現・東海村長) TOKAI.vil NEXT STORY



やまだ修
〈無所属〉

私は進めます!

◆選ばれるまちへ

「住み続けたい村」「住んでみたい村」としての魅力をさらに高め、今までにない施策を思い切って大胆に。

◆地域とつながる、 世界とつながる

村民主体のまちづくりの活動をしっかり後押し。ITを活かし世界とダイレクトに情報交流し、ひとづくりを新たな発想で。

◆50年先も便利なまちへ

利便性の向上を図るため、道路整備、土地区画整理事業、予防保全型の維持整備で暮らしを支えるインフラ整備をしっかりと。

◆福祉から「暮らし」に

個別の福祉から「暮らし」を支える新たな発想で対応を強化、ソフト面の施策をさらに充実。

◆これからの原子力・サイエンス

原子力関連施設の成果を村の産業や観光と連携させ、新規産業の誘致へ。東海第二発電所の安全・防災対策の検証と住民への情報公開で、科学を活かし、安全に力を入れる。

理想の「まち」をつくる

私は事業の推進と同時に財政の改革を進めました。これは単なる予算削減ではなく、新たな政策に使える財源確保のためでした。東海村は、いまや全国トップクラスの財政力を確保、いよいよ、理想のまちへ、挑戦します。ご支援をお願いします。

【山田修 略歴】●昭和36年生まれ●昭和61年茨城県庁に入庁、財政課や産業政策課等に在籍●平成25年東海村村長初当選●平成29年2期目当選



やまだ修の主張や政策はこちらをご覧ください。▶

この一票 私も参加 村づくり



投票日

9月5日(日)

午前7時から午後6時まで